

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E1121017		合奏 (和楽器を含む。) (Ensemble I)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	3	教育学部	後学期	火1	日本語		単独						
担当教員	氏名 高田 喜夫													
	E-mail takata@oita-pjc.ac.jp 内線													
授業の概要	中学校音楽科で行われる器楽合奏の目的や意義を把握した上で、合奏の指導法を研究し指導力を身に付けることを目的とする。中学校音楽科で取り扱われるソプラノ・アルトリコーダー、ギター、打楽器、和楽器の取扱い方と、基本奏法を習得しながら合奏のテクニックを養う。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	器楽合奏の目的や目標についての知識を習得できる。						○							
目標2	授業で取扱われる楽器(ソプラノ・アルトリコーダー、ギター、打楽器、和楽器等)の取り扱い方、基本的な奏法が習得できる。						○							
目標3	合奏における基本的な指導技術が習得できる。						○		○					
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)							8		2					
授業の内容														
1 ガイダンス														
2 リコーダー (リコーダーの歴史・奏法について、ソプラノリコーダー 楽曲演奏及び指導法研究)														
3 リコーダー (ソプラノリコーダー 楽曲演奏及び指導法研究)														
4 リコーダー (ソプラノリコーダー 楽曲演奏及び指導法研究)														
5 和楽器 (和楽器の基本的な奏法について)														
6 和楽器 (和楽器の基本的な奏法について)														
7 リコーダー (アルトリコーダー 楽曲演奏及び指導法研究)														
8 リコーダー (アルトリコーダー 楽曲演奏及び指導法研究)														
9 リコーダー (アルトリコーダー 楽曲演奏及び指導法研究)														
10 ギター (ギターの歴史・奏法について)														
11 打楽器 (打楽器の歴史・奏法について)														
12 合奏 (様々な楽器を使用した楽曲演奏及び指導法研究)														
13 合奏 (様々な楽器を使用した楽曲演奏及び指導法研究)														
14 合奏 (様々な楽器を使用した楽曲演奏及び指導法研究)														
15 まとめ														
ラーニンググループ	A:知識の定着・確認	○	楽譜から様々な情報を読み取り、新たな知識や技術の習得だけでなく、これまで習得した知識や技術を生かし、演奏表現を考える。個人での活動だけでなく、グループでの活動も行い、意見交流を行い、様々な演奏表現を考える。				工夫その他の							
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	事前に楽譜を読み、曲想や楽曲の構造、運指などを理解しておくこと。(23h)												
	事後学修	授業内でできなかった箇所等の練習を行うこと。理解できなかったことを整理すること。(22h)												
	想定時間合計	45												
教科書	適宜、楽譜やプリント等を配布する													
参考書	中学生の器楽(教育芸術社)ISBN978-4-87788-853-4 中学器楽 音楽のおくりもの(教育出版) 中学校学習指導要領解説 音楽編(文部科学省) 教育芸術社 改訂版 最新 中等科音楽教育法 2017/18年告示「中学校・高等学校学習指導要領」準拠 中学校・高等学校教員養成課程用 中等科音楽教育研究会編 音楽之友社 JBC バンドスタディ(ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス)													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート		50%	○	○	○							
	演奏発表		20%		○	○							
	試験		30%		○	○							
授業内で課すレポートの内容、演奏発表及び試験で評価する。													
注意事項	配布する楽譜を整理できるようクリアファイル等を準備すること。また、楽器や譜面台の準備を積極的に行うこと。 ソプラノ・アルトリコーダーを授業開始までに各自で準備しておくこと。												
備考													
リンク	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	学校法人大分高等学校 大分中学校・大分高等学校 元教諭												
実務経験を いかした 教育内容	中学校・高等学校教諭としての実務経験をもつ教員が、中学校音楽科で行われる器楽合奏の目的や意義を理解させ、各楽器の奏法や合奏の指導法を研究し指導力を育成する。												